

田中ひでき道政通信

北海道議会議員 田中英樹です

新型コロナウイルス感染症が続く中、皆様におかれましては感染症予防対策の励行など、日々のご協力に心から感謝申し上げます。

コロナ対策の切り札とも言われるワクチン接種が、医療従事者を対象にスタートし、4月より、いよいよ高齢者の方々から始まろうとしております。ワクチン接種は、国が全額負担するので『無料』で受けられます。集団免疫効果によって少しでも元の生活に戻るまで、共に乗り越えていきましょう！



令和3年第1回北海道議会定例会 一般質問(要旨) 令和3年3月11日

◆地域経済の活性化に向けた企業誘致について

質 問

●製造業の誘致について

サプライチェーン再編の動きを捉え製造業の誘致に取り組むべき。

●ポストコロナの企業誘致について

ワーケーションやテレワークといった働き方が注目されていることから、サテライトオフィスなどの誘致による活性化を。

●IT企業の振興について



答 弁

【鈴木知事】

テレワークなどの実施事例の紹介、誘致に向けた首都圏でのセミナー開催など市町村などとも緊密に連携をして企業の拠点と人材の一体的な誘致を進め、地域の活性化を図ってまいります。



◆道立広域公園の整備について

質 問

北海道みどりの基本方針では全道19ヶ所の整備目標が掲げられている。現在、整備供用済みが12ヶ所であり、釧路など7地域が未整備のまま。新たな道立広域公園の設置実現に向けて具体的に幅広い検討を。



答 弁

【鈴木知事】

道立広域公園は、地域振興の面からも重要な施設。基本方針を踏まえ限られた予算で多様化する利用者ニーズに対応するため引き続き、要望のある地域と意見交換を進めるなど効率的かつ効果的な整備手法について検討を進めてまいります。



知事への重点要望 2021年2月1日

道議会公明党として鈴木知事へ令和3年度重点要望を行いました。

冒頭、森団長から知事へ要望概要が説明されたのち、令和3年重点要望項目426(前年416・過去最多)のうち最重点要望項目24について、安藤政審委員長より説明されました。

要望の項目は以下の通りです。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 世界に向けた成長戦略
- ③ 景気・経済・雇用対策
- ④ 新時代に向けた産業振興戦略
- ⑤ 道内空港の活性化戦略
- ⑥ 国際観光新時代に向けた施策展開
- ⑦ 地域づくり戦略
- ⑧ 安心社会の構築
- ⑨ 環境の再生と暮らしの充実
- ⑩ 教育の再生と文化の創造
- ⑪ 国際化戦略
- ⑫ 災害対策
- ⑬ 脱原発と再生可能エネルギー
- ⑭ 抜本的な道庁改革



北海道地方路線問題調査特別委員会(JR委員会) 令和3年1月14日

◆JR問題について

- 1 地域の取組に対する評価
- 2 国の支援に対する受け止め
- 3 地域における協力について(黄線区への支援)
- 4 持続的な鉄道網の確立について

赤羽国土交通大臣(国交省)から2021年度からの3年間で総額1,302億円もの支援をJR北海道に対して行うことが示されました。次のフェーズとなる令和3年度から、令和5年度までの第2期集中改革期間における支援の概要を踏まえ、今後のJR北海道の経営自立及び持続的な鉄道網の確立に向けた取り組みについて質問をしました。

道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

北海道議会議員 田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064



田中ひでき オフィシャルwebサイト
制作/株新生



◆新たな旅行スタイルの推進について

質 問

2021年9月に開催されるアドベンチャートラベル・ワールドサミットでは札幌などの都市部だけでなく、開催の効果を全道に波及させるためにどう取り組むか。



◆教育問題について

●もうひとつのクライマックス事業について

●不登校児童生徒への対応について

質 問

GIGAスクール構想により全ての小・中学生に一人一台のパソコンが整備されることから、不登校の児童生徒へのICTを活用した学習支援を積極的に推進していくべき。



●子供の貧困対策について

◆ワーケーションの誘致について

◆政策評価について

●条例の施行状況等の点検について

●公共事業評価について

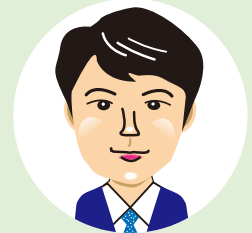


ADVENTURE TRAVEL
WORLD SUMMIT
—
HOKKAIDO, JAPAN
20-23 SEPTEMBER 2021

答 弁

【鈴木知事】

釧路市をはじめ道内各地を舞台とした47本のアドベンチャーツアーを参加者に体験していただき、本道の雄大な自然やアイヌ文化をはじめとした地域資源の様々なアクティビティの魅力を世界に向けて発信することとしております。サミット開催を契機に全道に経済波及効果が及ぶよう地域の多彩な特色を活かした旅行商品の造成やガイド育成などアドベンチャートラベルの一層の推進に取り組んでいく。



答 弁

【小玉教育長】

道内15地区を指定し、不登校の児童生徒へのICTの活用を含めた効率的な学習支援の在り方について調査研究を進め、オンライン授業やeラーニングなどにより、学習機会の提供などの実践例を取りまとめ、市町村教育委員会や学校に紹介するなど各学校での取組を促進します。今後、道教委としてICT環境の充実と活用ノウハウを高めながら、不登校の児童生徒が「学びを止めない」「心を近づける」ことができるよう努めてまいります。



アクション

レポート

Action report

鈴木知事への緊急申し入れ

2020年12月24日

北海道庁にて、鈴木直道知事へ道議会公明党として「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ」を行ないました。道内の新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向となっているが、人口当たりの感染者数は、全国と比較して引き続き高い水準であり、医療提供体制の逼迫など、厳しい状況が続いていることから、万全の対策が強く求められています。道においては、「集中対策期間」として設定した1月15日までの対策はもとより、その後の対応も見据えた施策の検討を早急に進めることが求められているため、大要以下の4点について申し入れをしました。

- ① 事業継続と雇用を守るための更なる支援
- ② 幅広い経済対策の実施
- ③ 医療・介護などへの総合的な支援
- ④ 新型コロナウイルスワクチンの接種体制整備



羅臼町高波被害調査

2020年12月27日

佐藤英道衆議院議員を迎え、根室管内羅臼町で発生した低気圧による高波被害を調査しました。

昆布番屋が全壊するなど大きな被害が出ました。昆布の漁期は終わっていますが、番屋や乾燥機などの漁業機器の被害もあり、漁業者の皆さんは不安でいっぱいです。

羅臼漁協さんの協力で、組合長をはじめ、町長、根室振興局長、釧路建設管理部など関係機関の皆さまからお話を聞き、現時点での大まかな被害状況を伺いました。全容はこれからになりますが、道としてもしっかり復旧に向けて連携して取り組んでいきたいと思っております。



地域課題の解決

2021年1月22日

5年前から地域の連合町内会などから出されていた要望のひとつに通学路の速度規制がありました。この地域は、もともと住宅がほとんどない原野でしたが、ここ20年ほどで急速に住宅が建ち、一大住宅街になりました。したがって、市道に速度規制がなかった状態がついに最近まで続き、クルマは法定速度60kmの走行が法的に可能な道路となっていました。小学生や中学生など多くの子どもたちが通学する道路に速度規制を設けて欲しいとの要望でした。近隣の方にしかわからないかもしれませんが、この道路は、道道鶴居線53号から星が浦地域に抜ける一直線の市道です。真ん中のいつつぼし公園まで行くと30km規制、鶴野小学校通りは40km規制となっていますが、その手前、セイコーマートまでは未規制でした。この度40km規制標識が設置され、長年の連合町内会要望が叶いました！

